

埼玉県の上尾市立鴨川小学校 小池先生、菅野先生から、MEXCBTの利活用についてお話を伺いました。
 ※上尾市立鴨川小学校の作成問題（小学校1年～6年までの計7問を搭載）は、問題検索画面で「問題の種類から選ぶ」から「独自作成問題」「一問一答形式」を選択の上、検索・配信することで全国の学校で活用可能です。

■■■学校HPのURL <https://www.city.ageo.lg.jp/site/kamogawa-elementaryschool/>■■■

1. なぜ、MEXCBTを使って問題を作成しようとしたのか経緯を教えてください。

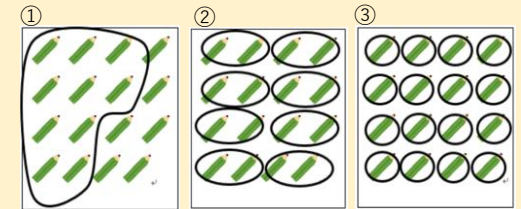
・令和4年度「教育課程実践検証協力校E-Assessmentに関するもの」の協力校となり、国や県の学力・学習状況調査もCBT化していく流れの中で、CBTで学力を測ることやCBTでテストを実施することなど、学校現場でできる指導・学習活動を研究することにしました。

2. 問題を作成する際に、工夫した点、苦労した点、感想等があったら教えてください。

・「思考力、判断力、表現力等」を問う問題を作成することから、問題形式の工夫が必要でした。全国学力・学習状況調査の問題を参考にしながら、問題づくりについての研修を行いました。
 ・問題に使用する図などについては、著作権のことを考慮し、一から作成したため時間がかかりました。
 ・MEXCBTへの問題掲載の申請時に、設定に関する制限などがあったことで、何度か修正を行いました。

★えんぴつは なんぼあるか つぎのように かんがえました。

① まとまりをつくって かんがえようとしてます。どのように かんがえたらよいか よいものを えらびましょう。



独自作成問題「かもまるテスト 1年算数 10より おおきいかず」の一部

3. 独自作成問題を解いた際の子供たちの反応を教えてください。

・授業で学習したことと問題の内容が一致していたので、学習に苦手意識をもつ児童も意欲的に取り組んでいました。
 ・問題によっては、回答方法が難しく、手間取っている様子も見られました。

4. MEXCBTを使ってみての児童、教員、保護者等の反応を教えてください。

【児童の反応】

・コンピュータ上での問題への取組は意欲的でした。
 ・低学年の児童はMEXCBTの使用に係る事前指導が必要でしたが、MEXCBTに慣れると次々とゲーム感覚で問題に取り組んでいました。
 ・週末の宿題をMEXCBTを活用して出題し、自宅でも取り組むことができてよかった。

【教員の反応】

・自分で問題作成をするよさは、目の前の子供たちの実態に合わせられるところだと思いました。
 ・各単元にあった問題が作成できれば、適用問題や発展問題として活用できてよいと思いました。
 ・問題作成には、時間と手間がかかり、作業を進めることは難しかったです。

【保護者の反応】

・今後、コンピュータを活用した学習やテストが増えていく流れの中で、このような実践をしてもらえることはありがたいです。



MEXCBTを活用した授業に取り組む児童の様子

5. 文科省へのご要望等※1ございましたら教えてください。

・CBT※2を用いることで、子供たちにどのような力を育むことができるか、また、学校ではどのような学習指導をしていくとよいのか、今後、示していただきたいです。

※1 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。

※2 CBT=Computer Based Testing コンピュータを使用した調査。